



愛知長久手ロータリークラブ

2012~2013

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター
会長 安田茂樹 幹事 小谷恒夫 会報 吉田濱一
Email : a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446
FAX:0561-64-5459



奉仕を通じて 平和を



本日 第 500 回 例会 2013 年 4 月 16 日 (火 曜 日) 第 493 号

<本日のプログラム> Today's Program

点鐘

<ロータリーソング> 「それでこそロータリー」

演題 : 地区協議会報告

講師 : 次年度会長・幹事
各委員長

前 回 第 499 回 例会 2013 年 4 月 9 日 (火 曜 日) 記 録

<ロータリーソング> 「我らの生業」
「四つのテスト」

総合司会 宮下智香子クラブ奉仕委員



野菜カレー
サラダ

<出席報告>

会員総数 22名 (免除会員1名)
出席者 14名 出席率 66.67% 前々回補正出席率 95.24%

<来訪者>

卓話講師 一般社団法人 愛知中央青年会議所 筆頭副理事長 松原 純二様
一般社団法人 愛知中央青年会議所 専務理事 三田晃宏様

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 安田茂樹会長



今日は愛知中央青年会議所の筆頭副理事長松原さんと専務理事の三田さんをお迎えしています。この後卓話をお願いをしています。昨年度も理事長さんの卓話をお願いしております。今後これを恒例として毎年毎年続けていただくと、益々仲が深まると思いますのでよろしくお願い致します。報告になりますが、先週3日(水)に地区内交流という事で、今資料を回覧していただいています三河安城ロータリークラブに7名で行って参りました。三河安城ロータリークラブは会員67名、もともとは安城ロータリークラブから25名で分れ現在67名の会員数となっています。安城市はロータリークラブが2つ、

ラインオンズクラブが3つ、女性だけのグループがあり3つのグループが安城の中で活躍しているそうです。三河安城RCは商工会議所の会頭がメンバーの中にいらっしゃるようでその中でも中心的なクラブになっているそうです。今週、尾張旭RCに出席され、次週当クラブに4~5名来訪されます。会員同士の交流を図りたいと思いますので是非皆様のご出席よろしくお願い致します。

最近、新聞、TV等でアジアのスーパー都市構想が注目されています。「知られざる東京改造計画」というタイトルで、3月16日の東急東横線と東京メトロ新都心線の相互直通運転開始、3月21日に旧東京中央郵便局再開発に伴い開業した98店舗の店舗や博物館などにより構成されるKITTEに続く、東京における新プロジェクトが紹介されました。2014年開業予定の虎ノ門ヒルズは、1946年に建設が計画されながら頓挫した虎ノ門-新橋間の環状2号線(マッカーサー道路)を実現させるプロジェクトで、地上52階建てのビルにはハイアット系のアンダース、住宅、オフィス等が入居して、地下には道路が造られます。

2016年には、大手町に84室の天然温泉付き旅館「星のや東京」(地上18階建て)もオープンします。外装を江戸小紋柄にする、エントランスではお客様に靴を脱いでいただくといった演出もされるようです。さらに、2014年にJRの東北縦貫線が開通し、品川-田町間の品川車両基地(広さ20ha)の車両を別の基地に移動できるようになることから、品川-田町間への山手線新駅開設も計画されています。品川-田町間は羽田空港、2027年に開通予定のリニア中央新幹線の発着駅になる見込みの品川駅にも近い、交通利便性の高い場所です。リニア中央新幹線が開業すると、東京-名古屋間が40分で結ばれ、名古屋から東京への通勤も可能になります。人口3,500万人の東京圏に、人口1,000万人の名古屋圏が東京圏への通勤圏として加わる可能性があるのです。

現在、アジアでは都市間競争が激化しています。経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセスをもとに評価される都市総合ランキングで、2012年は東京はロンドン、ニューヨーク、パリに次ぐ第4位(2008年と同順位)ですが、シンガポールが5位(2008年は11位)、ソウルが6位(2008年は13位)とアジアの

主要都市が台頭しています。

国際会議開催件数で見ると東京は第7位で、シンガポール(第1位)、ソウル(第5位)よりも下位にあります。シンガポールは、国際会議誘致のため、広い展示会場、劇場、娯楽施設、レストラン、さらにはカジノを1か所に集約した統合的なリゾートを提供し、世界的なイベント関係者を引き寄せようとしています。国際会議への参加者が仕事のついでに観光、ショッピングを楽しめるようにすること、また、特に外国人は国際会議に参加する際に家族を同伴してくるケースが多いことに対応しているのです。さらに、東京にとっての懸念材料は、先日、発表された国立社会保障・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』で示されたように、2020年には人口が減少に転じることです。東京の活力を維持するためには、外資系企業の誘致が欠かせません。そこで、東京はアジアヘッドクォーター特区の認定を受けており、外国企業の東京におけるアジア本社の実効税率を38%から28.9%に軽減することとし、5年間で500社以上の誘致を目指しています。一方で、近年、外資系企業の間では、アジア本社をシンガポールや香港、上海に開設する動きがあります。このような状況を打開すべく、アジアでの都市間競争を勝ち抜くために、東京が変わろうとしているのです。東京一極集中の加速を懸念する声もあるようですが、世界的な競争に勝ち残るには、日本の玄関口である東京の魅力を向上させ、東京を1つの拠点として、国内の他の地域に訪来者を誘導する仕掛けづくりが不可欠だと思います。いずれ名古屋にもその波が来るかもしれませんので、今のうちにその時の準備を忘れないようにしたいと思いました。

<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

- ・愛知中央青年会議所 筆頭副理事長松原さん、専務理事三田さんよくお越しくございました。卓話楽しみにしています。本日もよろしくお願ひします。 安田 茂樹
 - ・個展のため欠席してましたので、久しぶりに出席しました。もう桜も散ってしまいましたが、新緑の候よろしくお願ひします。 赤塚 一三
 - ・JC松原さん、三田さん、ようこそお出でくださいました。JC卒業後は是非我が愛知長久手ロータリークラブへ!! 大島 昭夫
 - ・愛知中央青年会議所 筆頭副理事長松原さん、専務理事三田さんよくお越しくございました。本日の卓話大変楽しみにしています。本日もよろしくお願ひ致します。 白石政二郎
 - ・松原様、三田様いつもお世話になっています。今後ともよろしくお願ひします。 丹羽 司一
 - ・先週のお花見はグッドタイミングでしたね。本日もよろしくお願ひします。 林 正俊
 - ・愛知中央青年会議所 松原純二筆頭副理事長、三田専務理事ようこそお出でございましてありがとうございます。本日もよろしくお願ひします。 松原 正敏
 - ・松原様、三田様卓話楽しみにしています。本日も宜しくお願ひします。 宮下智香子
 - ・本日もよろしくお願ひします。 宮島 桂子
 - ・愛知中央青年会議所 筆頭副理事長松原純二様、専務理事三田晃宏様ようこそおいでいただきありがとうございます。卓話大変楽しみにしております。 山田 文明
 - ・本日もよろしくお願ひします。 小谷 恒夫
- “ イギリスの 産業革命 終わっても 政治・経済 鉄の壁 ”
(敬称略)

<幹事報告> 小谷 恒夫幹事

- 1) 役員・理事会報告
 - ①第2530地区(福島)水からプロジェクト支援……支援承認
 - ②3月度会計報告……承認
 - ③IM実行委員会立ち上げについて
- 2) 4月14日(日)9:30~受付 2013-2014年度のための地区協議会開催
- 3) 4月16日(火)地区内交流例会相手クラブ三河安城ロータリークラブご来訪
- 4) 配布物……ロータリーの友「4月号」・ 地区大会記録誌
回 覧……ガバナー月信「4月号」

<次年度幹事報告> 松原 正敏次年度幹事

次年度青少年交換プログラムアンケートについて……

- 1) クラブ会員数少数のため受け入れ態勢が整わず受け入れは不可能
- 2) ホストファミリーの受け入れ希望者は事務局までお願ひします。

<卓話> 演題： ・青年会議所の会員拡大状況
 ・青年会議所のまちづくり活動内容
 講師： 一般社団法人 愛知中央青年会議所 筆頭副理事長 松原 純二様
 一般社団法人 愛知中央青年会議所 専務理事 三田晃宏様

【会員拡大について】

一般社団法人愛知中央青年会議所も会員数の減少の減少に苦しんでおり、会員拡大は喫緊の課題となっています。例年拡大委員会を設けて会員拡大に努めてきましたが本年度はメンバー全員での拡大活動を意識させるために工夫を凝らしています。

- ・名刺やパンフレットなどのツールを充実させました。
- ・拡大候補者の方が参加しやすいような事業を多く設営する方針です。
- ・メディアで事業を広報して、青年会議所とその活動を皆さんに知ってもらうようにします。

青年会議所は40歳で卒業となります。地域のために活躍できる即戦力の人材を育てる事が出来る団体であると考えておりますので20～30代の青年がお見えでしたら是非お声掛けください。

【まちづくり活動について】

3月に徳育をテーマに事業を行いました。思いやりの心、利他の精神を学ぶ例会としてボランティアの方をお招きしての事業を行いました。

また8月には青少年事業として小学生の子どもを募集してキャンプを行い徳育を学んでいただきます。以前からの継続事業として寺子屋事業というものを行っています。近隣の大学生が自分たちが考えて設営する事業に小学生の子どもたちが参加するもので、大学生とこどのたちそれぞれがそれぞれの立場で様々なことを学べる事業となっており、将来は地域のNPOに移管が出来るように活動しています。

★ ハイライトよねやま 156号 ★ 2013年3月12日発行

:: 今月のトピックス ::

1. 寄付金速報 — 下半期の寄付状況は —
2. ベトナム現地採用奨学生が感謝のスピーチ
3. 東京米山友愛RCが創立3周年
4. 被災地に桜の植樹 — 第2620地区米山学友会 —
5. 写真で子どもたちを元気に！ — シュン・プロジェクト —

映像作家として活躍する米山学友、朴ヒョンジョンさん(韓国/2009-10/東京四谷RC)が企画した「シュン・プロジェクト」が、第2580地区のロータリー財団新地区補助金を得て実現しました。「シュン」とは、瞬間をとらえ、旬を見つけることで春を待ち望むという意味が込められています。このプロジェクトは、被災地の子どもたちにインスタントカメラを渡して撮影してもらい、現像された写真を発表したり、撮影したときの気持ちを考えてもらうものです。子どもたちには新たな発見・表現のきっかけとなり、写真を見る人々にとっては、東北の子どもたちの「今」を知り、生の声を聞くことにつながる活動です。昨年、福島県相馬市の小学校で行ったワークショップでは、子どもたちが友達を撮影したり、笑顔で被写体を探す姿が多く見られました。朴さんは「子どもたちの夢で撮った写真を世界に発信し、私が感じた感動や楽しさを、より多くの人々に伝えたい」と、語ります。今後は福島県以外の場所でも、子ども対象のワークショップ、写真を鑑賞する大人対象のワークショップや展覧会など、さまざまな形で活動していきたいそうです。興味のある方は下記まで。
 シュン・プロジェクトHP <http://www.shun-project.jp> eメールアドレス
shunproject@gmail.com
 その他の記事は、ぜひPDF版をご覧ください。



4月23日(火)	4月30日(火)	5月7日(火)	5月14日(火)
卓話:会員卓話 (トヨタ博物館)	規定休日 (トヨタ博物館)	親睦夜間例会 19:00～ (名古屋栄東急イン)	クラブフォーラム (トヨタ博物館)